

池田泉州ホールディングス 平成24年度中間期 業績ハイライト

■ 中間貸借対照表の要旨 (平成24年9月30日現在) (単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,273	流動負債	617
現金及び預金	5,167	未払費用	18
未収還付法人税等	1,333	未払法人税等	49
その他	771	未払消費税等	5
固定資産	182,842	賞与引当金	11
有形固定資産	18	その他	532
無形固定資産	30	固定負債	1,563
投資その他の資産	182,793	長期借入金	1,553
関係会社株式	182,793	その他	10
その他	0	負債の部合計	2,181
繰延資産	70	(純資産の部)	
資産の部合計	190,185	株主資本	187,961
		資本金	72,311
		資本剰余金	110,782
		資本準備金	34,811
		その他資本剰余金	75,970
		利益剰余金	6,476
		その他利益剰余金	6,476
		自己株式	△1,609
		新株予約権	43
		純資産の部合計	188,004
		負債及び純資産の部合計	190,185

注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たりの純資産額 606円65銭

3. 1株当たりの中間純利益金額 24円07銭

4. 潜在株式調整後

1株当たりの中間純利益金額 24円06銭

■ 中間損益計算書の要旨 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額
営業収益	6,054
営業費用	371
営業利益	5,682
営業外収益	18
営業外費用	24
経常利益	5,677
税引前中間純利益	5,677
法人税、住民税及び事業税	6
法人税等調整額	3
法人税等合計	10
中間純利益	5,666

■ 中間株主資本等変動計算書の要旨 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位：百万円)

	株主資本					新 予 約	株 権	純 資 産 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 剰 余 金 計	自 己 株 式	株 主 資 本 計			
当期首残高	72,311	110,825	6,394	△1,944	187,586	62	187,648	
当中間期変動額								
剰余金の配当			△5,585		△5,585		△5,585	
中間純利益			5,666		5,666		5,666	
自己株式の取得				△1	△1		△1	
自己株式の処分		△42		337	294		294	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△19	△19	
当中間期変動額合計	—	△42	81	335	374	△19	355	
当中間期末残高	72,311	110,782	6,476	△1,609	187,961	43	188,004	

■ 中間連結貸借対照表の要旨 (平成24年9月30日現在) (単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	103,940	預り金	4,437,392
コールローン及び買入手形	2,742	債券貸借取引受入担保金	172,190
買入金銭債権	1,089	借入金	73,607
商品有価証券	80	外国為替	264
金銭の信託	18,793	社債	53,000
有価証券	1,214,295	その他負債	64,921
貸出金	3,540,165	賞与引当金	1,948
外国為替	3,088	退職給付引当金	4,557
その他資産	58,501	役員退職慰労引当金	134
有形固定資産	38,555	睡眠預金払戻損失引当金	283
無形固定資産	8,243	ポイント引当金	162
繰延税金資産	32,818	偶発損失引当金	450
支払承諾見返	24,138	繰延税金負債	6
貸倒引当金	△53,463	負のれん	6
		支払承諾	24,138
		負債の部合計	4,833,063
		(純資産の部)	
		資本金	72,311
		資本剰余金	72,632
		利益剰余金	29,217
		自己株式	△1,609
		株主資本合計	172,552
		その他有価証券評価差額金	△13,773
		繰延ヘッジ損益	△0
		その他の包括利益累計額合計	△13,774
		新株予約権	43
		少数株主持分	1,104
		純資産の部合計	159,926
資産の部合計	4,992,989	負債及び純資産の部合計	4,992,989

注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 貸出金のうち、
 破綻先債権額 5,591百万円
 延滞債権額 54,632百万円
 3カ月以上延滞債権額 0百万円
 貸出条件緩和債権額 17,150百万円
 その合計額 77,374百万円
 3. 連結自己資本比率(国内基準) 10.93%
 4. 担保に供している資産
 有価証券 290,197百万円
 その他資産 2,112百万円
 担保資産に対応する債務
 預金 2,315百万円
 債券貸借取引受入担保金 172,190百万円
 借入金 35,513百万円
 上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、有価証券74,568百万円を差し入れております。
 5. 1株当たりの純資産額 482円81銭
 6. 1株当たりの中間純利益金額 16円53銭
 7. 潜在株式調整後
 1株当たりの中間純利益金額 16円52銭

■ 中間連結株主資本等変動計算書の要旨 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額合計	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
当期首残高	72,311	72,675	30,910	△1,944	173,952	△11,880	62	1,177	163,311
当中間期変動額									
剰余金の配当			△5,585		△5,585				△5,585
中間純利益			3,892		3,892				3,892
自己株式の取得				△1	△1				△1
自己株式の処分			△42	337	294				294
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△1,893	△19	△72	△1,984
当中間期変動額合計	—	△42	△1,692	335	△1,400	△1,893	△19	△72	△3,385
当中間期末残高	72,311	72,632	29,217	△1,609	172,552	△13,774	43	1,104	159,926

■ 中間連結損益計算書の要旨 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位: 百万円)

科目	金額
経常収益	54,713
資金運用収益	34,169
(うち貸出金利息)	(27,704)
(うち有価証券利息配当金)	(6,372)
役員取引等収益	8,208
その他業務収益	7,281
その他経常収益	5,053
経常費用	49,805
資金調達費用	4,861
(うち預金利息)	(3,515)
役員取引等費用	2,551
その他業務費用	459
営業経費	27,199
その他経常費用	14,731
経常利益	4,908
特別利益	491
特別損失	37
税金等調整前中間純利益	5,361
法人税、住民税及び事業税	1,019
法人税等調整額	16
法人税等合計	1,035
少数株主損益調整前中間純利益	4,325
少数株主利益	433
中間純利益	3,892

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位: 百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	5,361
減価償却費	2,158
減損損失	2
のれん償却額	14
負のれん償却額	△1
負のれん発生益	△491
持分法による投資損益(△は益)	△7
貸倒引当金の増減(△)	5,159
賞与引当金の増減額(△は減少)	198
退職給付引当金の増減額(△は減少)	41
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△200
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	24
ポイント引当金の増減額(△は減少)	21
偶発損失引当金の増減(△)	△23
資金運用収益	△34,169
資金調達費用	4,861
有価証券関係損益(△)	△4,076
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	204
為替差損益(△は益)	12,463
固定資産処分損益(△は益)	35
貸出金の純増(△)減	△24,022
預金の純増(△)	46,938
借入金(劣後特約借入金を除く)の純増(△)	6,342
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△6,224
商品有価証券の純増(△)減	△11
コールローン等の純増(△)減	△1,638
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	△65,116
外国為替(資産)の純増(△)減	1,239
外国為替(負債)の純増減(△)	△167
資金運用による収入	35,391
資金調達による支出	△5,509
その他	3,031
小計	△18,168
法人税等の支払額	△509
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△545,682
有価証券の売却による収入	443,735
有価証券の償還による収入	93,658
有形固定資産の取得による支出	△1,289
無形固定資産の取得による支出	△339
有形固定資産の売却による収入	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	
劣後特約借入れによる収入	5,500
劣後特約借入金の返済による支出	△8,000
配当金の支払額	△5,585
少数株主への配当金の支払額	△24
自己株式の取得による支出	△1
自己株式の売却による収入	337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,284
現金及び現金同等物の期首残高	130,996
現金及び現金同等物の中間期末残高	94,711
注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。 2. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、中間連結貸借対照表上の「現金預け金」のうち現金及び日本銀行への預け金であります。 3. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係は次のとおりであります。	現金預け金勘定 103,940百万円 当座預け金 △911百万円 普通預け金 △1,908百万円 通知預け金 △30百万円 定期預け金 △1,085百万円 振替貯金 △293百万円 譲渡性預け金 △5,000百万円 現金及び現金同等物 94,711百万円

■ 中間連結財務諸表作成のための基本となる事項

1. 連結の範囲に関する事項
- (1) 連結される子会社及び子法人等 27社
 主要な会社名 株式会社池田泉州銀行
 池田泉州リース株式会社
 泉銀総合リース株式会社
 池田泉州信用保証株式会社
 近畿信用保証株式会社
 株式会社ジェーアイ
 株式会社ディーアイ
 株式会社ブイアイ
 株式会社泉州カード
 池田泉州キャピタル株式会社
 池田泉州ビジネスサービス株式会社
 池田泉州オフィスサービス株式会社
 池田泉州モーゲージサービス株式会社
 ハイ・ブレーション株式会社
 エス・アイ・ソフト株式会社
 池田泉州投資顧問株式会社
- なお、平成24年11月1日にハイ・ブレーション株式会社とエス・アイ・ソフト株式会社は、存続会社をハイ・ブレーション株式会社として合併し、社名を池田泉州システム株式会社に變更しております。
- (連結の範囲の変更)
 池田泉州キャピタル事業承継ファンド絆投資事業有限責任組合は、設立により当中間連結会計期間から連結しております。
- (2) 非連結の子会社及び子法人等
 会社名 Ikeda Preferred Capital Cayman Limited
- 非連結の子会社及び子法人等は、その資産、経常収益、中間純損益(持分に見合う額)、利益剰余金(持分に見合う額)及びその他の包括利益累計額(持分に見合う額)等からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。
2. 持分法の適用に関する事項
- (1) 持分法適用の非連結の子会社及び子法人等
 該当ありません。
- (2) 持分法適用の関連法人等 3社
 会社名 株式会社自然総研
 株式会社バンク・コンピュータ・サービス
 株式会社ステーションネットワーク関西
- (3) 持分法非適用の非連結の子会社及び子法人等
 会社名 Ikeda Preferred Capital Cayman Limited
- (4) 持分法非適用の関連法人等
 該当ありません。
 持分法非適用の非連結の子会社及び子法人等は、中間純損益(持分に見合う額)、利益剰余金(持分に見合う額)及びその他の包括利益累計額(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても中間連結財務諸表に重要な影響を与えないため、持分法の対象から除外しております。
3. 連結される子会社及び子法人等の中間決算日等に関する事項
- (1) 連結される子会社及び子法人等の中間決算日は次のとおりであります。
 6月末日 11社
 9月末日 16社
- (2) 連結される子会社及び子法人等のうち、中間決算日が中間連結決算日と異なる子会社及び子法人等については、各社の中間決算日の中間財務諸表により連結しております。なお、中間連結決算日との間に生じた重要な取引については、必要な調整を行っております。